

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第1区分

【発行日】平成27年8月27日(2015.8.27)

【公開番号】特開2014-69977(P2014-69977A)

【公開日】平成26年4月21日(2014.4.21)

【年通号数】公開・登録公報2014-020

【出願番号】特願2012-215065(P2012-215065)

【国際特許分類】

C 01 B	21/24	(2006.01)
B 01 D	53/14	(2006.01)
B 01 D	53/26	(2006.01)
B 01 J	20/18	(2006.01)
B 01 J	20/08	(2006.01)

【F I】

C 01 B	21/24	Z
B 01 D	53/14	1 0 2
B 01 D	53/26	1 0 1 C
B 01 J	20/18	B
B 01 J	20/08	A

【手続補正書】

【提出日】平成27年7月10日(2015.7.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも一酸化窒素および水分を含む混合ガスを、吸着剤に通流させて水分を当該吸着剤に吸着させるための吸着工程を含む一酸化窒素精製方法であって、

上記吸着剤として、無機系吸着剤に対して、無機酸塩を生成するための前処理が予め施された前処理済吸着剤を用いることを特徴とする、一酸化窒素精製方法。

【請求項2】

上記前処理は、鉛酸水溶液と上記無機系吸着剤とを接触させる操作を含む、請求項1に記載の一酸化窒素精製方法。

【請求項3】

上記鉛酸水溶液は硝酸水溶液である、請求項2に記載の一酸化窒素精製方法。

【請求項4】

上記前処理は、酸性ガスと上記無機系吸着剤とを接触させる操作を含む、請求項1に記載の一酸化窒素精製方法。

【請求項5】

上記混合ガスは、不純物として二酸化窒素および二酸化硫黄の少なくとも一方を含み、上記混合ガスを上記吸着工程行う前に、当該混合ガスをアルカリ水溶液に接触させて上記不純物を吸収除去するためのアルカリ洗浄工程を更に含む請求項1～4のいずれかに記載の一酸化窒素精製方法。

【請求項6】

少なくとも一酸化窒素および水分を含む混合ガスから水分を吸着除去するための無機系吸着剤を充填した吸着管を含む一酸化窒素精製システムであって、

上記無機系吸着剤は、無機酸塩を生成するための前処理が予め施されていることを特徴とする、一酸化窒素精製ライン。

【請求項 7】

上記無機酸塩は、硝酸塩である、請求項 6 に記載の一酸化窒素精製ライン。

【請求項 8】

上記混合ガスは、不純物として二酸化窒素および二酸化硫黄の少なくとも一方をさらに含み、

上記吸着管よりも上流側に、上記混合ガスから上記不純物を接触除去するためのアルカリ水溶液が収容された吸收液接触装置が設けられている、請求項 6 又は 7 に記載の一酸化窒素精製ライン。